株式会社コトブキパック

２０１７事業年度環境活動レポート

（対象期間：2017年７月1日～2018年６月30日）

エコアクション21
認証・登録番号0001122

発行日:　　2018/7/27

□　組織の概要

事業所名及び代表者
　　株式会社コトブキパック
　　代表取締役会長　下澤　壽重

所在地
　　本社工場　　長野県松本市庄内2丁目7番10号
　　西南工場　　長野県松本市大字今井字松本道7089-3
　　東京営業所　東京都新宿区馬場下町14番地　翔ビル
　　物流センター　東京都東村山市恩多町1-13-2　LOG-POAT102 4F

環境管理責任者及び担当者連絡先
　　責任者　本社工場長　　上條　祐輔
　　担当者　製造部長　　坪田　孝史
　　連絡先　TEL　0263-25-3207　　E-mail　k-001@lily.ocn.ne.jp

事業活動の概要
　　紙製緩衝材・ダンボール・紙器・包装材の設計、製造、販売

事業の規模
　　主要製品生産量
　　製品出荷額

	本社及び本社工場	西南工場	東京営業所	物流センター
従業員	29人	13人	1人	13人
延べ床面積	1080㎡	1039㎡	103㎡	610㎡

□　対象範囲

認証・登録範囲
　　本社工場　西南工場　東京営業所　物流センター

レポートの対象期間
　　2017年7月1日から2018年6月30日

発行日
　　2018年7月

□ ごあいさつ

～お客様の笑顔が見たい～

これが当社の基本です。

お客様に喜んでいただける製品を提供していくための努力と共に、
豊かな地球環境を次世代へ継承していけるよう努めてまいります。

株式会社 コトブキパック
代表取締役　下澤 壽重

＜環境理念＞

株式会社コトブキパックは、段ボール製パレット、紙製緩衝製品、段ボール製品、紙器等の事業活動・製品・サービスを通じて、豊かな地球環境を次世代へ継承することを責務と認識し、地球環境保全と循環型社会の構築を目指した事業活動を行います。

＜環境方針＞

１．環境関連諸法規、条例及び、その他の要求事項を遵守するとともに、環境負荷の低減に取り組みます。

２、電力、水資源、化石燃料の使用削減と省資源活動を積極的に取り組みます。

３、製品の設計、開発、生産の過程において、廃棄物の排出量削減と３Ｒに努めます。

４、グリーン購入を積極的に推進します。

５、環境教育や日常の環境意識の向上を図り、製品やサービスの質の向上に努めます。

６、社内及び、周辺地域との融和を図り、環境活動を通じて、地域社会との共存を図ります。

７、環境方針及び、環境保全活動の状況は、全従業員に周知すると共に、適切な形で一般に公開します

制定日 ：平成23年5月1日

代表取締役会　　下澤　壽重

□　環境目標

	項　　目	責任部門 責任者	単位	2015事業年度	2016事業年度	2017事業年度
省エネによる二酸化炭素排出量削減	電力使用による二酸化炭素排出量の削減	工場・事務所 上條工場長 藤牧工場長	kg－Co^2	54，129	53，582	53，036
			（kg－Co^2排出係数は中部電力2015年度0.513を採用する）			
	車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	各運転手 沖	kg－Co^2	38，924	38，531	38，138
	灯油・プロパンガス使用の二酸化炭素排出量削減	工場・事務所 唐沢・上條・樋本	kg－Co^2	19，245	19，051	18，856
	二酸化炭素排出量合計		kg－Co^2	112，298	111，164	110，030
廃棄物の削減	事業系一般廃棄物 事務所内廃棄物	総務部・工場 山中・坪田・樋本	t	173	172	170
	産業廃棄物	工場 唐沢・樋本	t	注視・測定	注視・測定	注視・測定
節水	水使用量削減	工場 宮本・樋本	㎥	449	444	440
	事務用品のグリーン購入	総務部 市川	%	63	65	70
	製品への環境配慮	工場 上條工場長・清沢 藤牧工場長	件	13	13	14

□　環境活動計画

<u>電力使用による二酸化炭素排出量の削減</u>
目標値　38,138 kg－Co^2

・室内不在時消灯　・昼休憩時消灯　・使用外のIT機器の電源OFF

・冷房温度28℃設定　・暖房温度20℃設定　・冷房時の扇風機使用

・エアコンフィルター清掃　・機械のアイドリングストップ

<u>車両燃料使用による二酸化炭素排出量の削減</u>
目標値　18,856 kg－Co^2

・アイドリングストップ　・法定速度厳守　・1way輸送を無くす

・急発進、急停車を控える　・タイヤの空気圧適正管理

<u>事業系一般廃棄物、事務所内廃棄物の削減</u>
目標値　170 トン

・廃棄物再利用　・コピー紙裏紙使用　・廃棄物分別徹底

・ダンボール、白上質紙100%リサイクル　・製品端材をコピー用紙やメモ紙に使用

<u>産業廃棄物の削減</u>
目標値　注視・測定

・廃棄物の分別の徹底　・資材の再利用、リサイクル化　・マニフェストの管理徹底

<u>節水</u>
目標値　440 ㎥

・節水の呼びかけ　・水資源の有効活用

□　環境活動計画

<u>グリーン購入</u> 目標値　　70% ・グリーン製品の積極的購入
<u>製品への環境配慮</u> 目標値　　14 件 省エネ商品販売　　・再生資源の積極的利用　　・材料端材の活用
<u>作業時のエコ活動</u> ・作業手順見直し　　・作業時間短縮　　・5Sの徹底から作業効率を上げる ・社員教育
<u>社会貢献</u> ・月１回の社内外のクリーン活動（ゴミ拾い、草取り、雪かきなど）

社内外のクリーン活動の様子

□　環境目標の実績

		2015年	2016年	2017年
電力の二酸化炭素排出量の削減	購入電力	102,176kwh	106,231kwh	108,431kwh
	kg-CO^2	52,416	54,496	55,625
化石燃料の二酸化炭素排出量削減	ｶﾞｿﾘﾝ	2719ℓ	1975ℓ	3156ℓ
	軽油	9928ℓ	9983ℓ	9754ℓ
	灯油	6386ℓ	7098ℓ	6416ℓ
	LPG	143kg	142kg	179kg
	kg-CO^2	48,712	48,900	49,450
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO^2	101,128	103,396	105,075
一般廃棄物の削減	t	174	165	171
産業廃棄物の削減	t	5.8	4.83	12.8
水使用量の節約	㎥	454	443	450
事務用品のグリーン購入		63%	65%	70%
製品への環境配慮		14件	13件	14件

□　**環境活動の取り組み計画と評価**

◎よくできた　○できた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減		年間通して、目標使用値をオーバーした。
・室内不在時消灯	◎	仕事量により電気使用量は変化するが、指数（kg-Co2/売上高）は１１６、前事業年度は１２６だったので、エコ活動は出来ていると思われる 機械部品の交換により、20箱/分から25箱にスピードアップすることができ、仕事効率が上がった 引き続き節電の呼びかけをおこなっていく
・昼休憩時消灯	◎	
・使用外のＩＴ機器の電源ＯＦＦ	○	
・冷房温度２８℃設定	◎	
・暖房温度２０℃設定	◎	
・外気の室内取り込み	◎	
・エアコンフィルター清掃	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		目標達成。 これからも１way輸送などの無駄走りが無くなるよう徹底していく
・エコドライブ教育	△	
・法定速度遵守	○	
事業系一般廃棄物、事務所内廃棄物の削減		前年より２０％増えた。 生産量も前年より増えてはいるので廃棄量が増えるのは仕方ないが、引き続き削減活動をして業務で排出される材料端材をコピー紙や別のものに再利用する
・廃棄物再利用	◎	
・コピー紙裏紙使用	◎	
・段ボール、白上質紙１００％リサイクル	◎	
・廃棄物分別徹底	◎	
産業廃棄物の削減		前年より増えた ５Ｓ活動による整理をした為である
・分別の徹底	◎	
・資材の再利用、リサイクル化	◎	
・マニフェスト管理徹底	◎	
節水		目標未達成。 水道使用量の増加に伴ってプロパンガスの使用量も前年より増加した。 水の低温度設定とともに節水を呼び掛ける。
・節水の呼びかけ	○	
・水資源の有効活用	○	
グリーン購入		事務用品の購入時にグリーン製品か確かめて購入している。 RoHS対応品も確かめて購入する
・グリーン製品の購入	○	
製品への環境配慮		段ボール製パレットも順調に出荷している。 製品のキズ防止のためのあて紙などに製品材料端材を利用している。
・省エネ商品販売	○	
・再生資源の積極的利用	○	
・材料端材の活用	○	
作業時のエコ活動		５Ｓ活動を進め、現場全体が広く使えるようになってきている。 通路も今まで以上に広く使えるようになったため、台車に荷物を載せたまま移動が簡単にできるようになった 作業効率を上げることで１つの製品に対する時間を減らすと、Ｃｏ２削減になることを社員全員で共有し実行していく。
・作業手順見直し	○	
・作業時間短縮	○	
・５Ｓ活動（特に整理・整頓）	◎	
社会貢献		社内外のごみ拾いや草取りを定期的に行っている。
・月１回の社内外のクリーン活動	○	

□　次年度の取組内容

取組内容	重点的な取組
電力による二酸化炭素排出量の削減 ・　室内不在時消灯 ・　昼休憩時消灯 ・　使用外のＩＴ機器の電源ＯＦＦ ・　冷房温度２８℃設定 ・　暖房温度２０℃設定 ・　冷房時の扇風機使用 ・　エアコンフィルター清掃 ・　機械のアイドリングストップ	エアコンフィルターの清掃は年2回を目標とし、チェック表に書き込む 引き続き節電の呼びかけ。 熱を使う機械などは、計画をたて１度に終わらせるようにしていく 在庫の管理を定置化しすぐに在庫数が分かるようにし、無駄なものを作らないようにしていく
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減 ・　アイドリングストップ ・　法定速度遵守 ・　急発進、急停車を控える ・　タイヤ空気圧適正管理	無駄なアイドリングを控える 朝の配送会議で日の配達予定を組み１Ｗａｙ輸送をなくしていく
事業系一般廃棄物、事務所内廃棄物の削減 ・　廃棄物再利用 ・　コピー紙裏紙使用 ・　段ボール、白上質紙１００％リサイクル ・　廃棄物分別徹底 ・　製品端材をコピー用紙やメモ紙に使用	有価廃棄物完全分別 材料端材の有効活用により廃棄物削減をする
産業廃棄物の削減 ・　廃棄物の分別の徹底 ・　資材の再利用、リサイクル化 ・　マニフェスト管理徹底	産業廃棄物の分別の徹底 すべてをゴミとしないで再度使えるものは積極的に再使用する
節水 ・　節水の呼びかけ ・　水資源の有効活用	節水の呼びかけ
グリーン購入 ・　グリーン製品の購入	事務用品の購入時はグリーン製品を選ぶ
製品への環境配慮 ・　省エネ商品販売 ・　再生資源の積極的利用 ・　材料端材の活用	あまっている材料や、大判材料の切り落としを他の製品に充てる。社内、材料置き場を広く使う
日常業務における環境活動 ・　作業手順見直し ・　作業時間短縮 ・　５Ｓ徹底から作業効率を上げる ・　社員教育 ・　在庫の管理を徹底する	作業手順の見直しや時間短縮を図り、結果的に二酸化炭素排出量削減につなげる ５Ｓの徹底から作業効率のアップを狙い、社員全員で取り組む 無駄なものを作らない→在庫置き場が乱雑にならないよう管理できる状態にし、時間を無駄に使わないようにする
社会貢献 ・　月１回の社内外のクリーン活動	会社周りのゴミ拾い、草取り、雪かきなど

□ **環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
騒音規制法	敷地境界線上の騒音測定（コンプレッサー、プレス機）
振動規制法	敷地境界線上の騒音測定（コンプレッサー、プレス機）
廃掃法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、金属くず、廃油）
消防法	危険物保管の指定数量以上の許可（灯油、潤滑油）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去５年間ありません。

□ **代表者による全体の評価と見直し**

①全体的な評価
　エコアクション２１の取組みが始まって１2年経過した。
　エコアクションを続けてきている中で、省エネ・省資源・廃棄物分別といったエコ意識は社員全員で活動が出来てきているが、活動結果として数字では出にくくなってきている。
　今事業年度は５Ｓ活動に力を入れてきた。
整理整頓で社内の通路、材料置き場が広がり作業しやすい環境になってきているが
この活動を通して、生産性をいかに上げていくかがこれからの課題になっていく。
５Ｓ活動から環境経営を良くしていくことがこれからの目標である。

②電力使用量削減目標未達成
電力使用量が１年通して目標値をオーバーした。
仕事量に変化により電力使用も変わっていくが、運転していない機械の電源は切るなど
よりいっそうムダなことは無いよう取組を進めていく。
部品の交換により生産性の上がった機械もあり、今まで以上に時間のエコに
も取り組んでいく。

③事業系一般廃棄物削減目標未達成
1年を通して排出量が多くなった。
生産量が増えたこともあり、排出量が多少あがるのは仕方がない。
引き続きの分別徹底と、材料の面付けなど排出量削減に取り組む。

④水使用量削減目標未達成
社員数は前年より減っている。
糊を使用する仕事がありその洗浄に水を多く使用するが、付け置きするなどして
１回の洗浄時間と水使用を少しずつでも減らしていくように呼びかける。
水使用と同時にＬＰＧの使用量が増えているので、節水と同時に呼びかけを行う。

中期計画の見直しで効率指標の目標ができた。
いかに効率よく仕事をしていくかにかかっている。
これからはエコ２１ガイドライン２０１７年版に向かって社員全員で環境活
動に取り組みをしていきたい。